

会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



目次

「さいたま市大宮武道館」

- 新年のご挨拶..... 2~3
- 事業実績..... 4~5
- 各種講習・研修会..... 6~7
- 就業会員の声..... 8~9
- 発注者の声..... 9~10
- 地域班活動・親睦互助会..... 11~13
- ボランティア活動..... 14
- 安全だより・クリスマスコンサート..... 15
- 事務局だより・編集後記..... 16

第33号

2018.1.1

迎春



公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

ホームページ: <http://saitama-sjc.or.jp/>



新年のご挨拶

公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼 兵

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様並びに、ご支援・ご協力を賜っております関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、当センターの事業に多大なるご尽力とご協力をいただきましたことに対し、心からお礼申し上げます。さて、超高齢社会の本格的な到来を迎え、就業を希望する高齢者の受け皿として、また、地域社会の担い手として、シルバー人材センターの果たす役割はますます高まっています。

ます。

こうした期待に応えるとともに、これまでの課題や問題点を整理し、私たちの進むべき方向性を明確にするため、平成30年度から34年度までを計画期間とする第2次中期計画を本年3月に策定します。

この計画では、当センターが目指すべき基本的な方針を定め、具体的に取り組むべき施策を推進することにより、「より魅力あるセンターの実現」を図るものです。昨年実施しました「健康・生活アンケート」の結果では、センターの活動が『生きがい就業』によって、一般高齢者

と比較して、健康度が優れていること、また会員の皆様が

「健康維持」「生きがい」「友人との交流」の効果を実感しており、センターの活動を継続することによって健康寿命の延伸につながることが示されました。

この結果を就業の場の確保や会員増強などシルバー事業の推進につなげることにより、会員の皆様がこれまでの経験や知識等を活かし、生きがいを持って、引き続き元気に活躍していただくことを心より願っております。

また、「就業事故ゼロ」を合言葉に、本年度は4月より事

故取扱基準の施行、「安全のしおり」の全会員への配布と安全就業に向けての施策を実施してまいりましたが、事故がなかなか減少しない状況です。今後も継続した施策の実施やさらなる安全・適正就業の施策の検討が必要な状況です。

事故の未然防止と再発防止を目指して役職員が一丸となり取り組んでまいります。

会員の皆様には、「自主・自立、共働・共助」のセンター理念のもと、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご活躍、また新しい年が皆様に幸多き素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでと
うございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別のご協力とご支援を賜り、感謝とお礼を申し上げます。

さて、さいたま市は昨年、人口128万人に達し、全国の政令指定都市中3位の増加数となりました。また、企業の進出も進み、10年間で企業本社が112社増加しています。また、市民意識調査では、

住みやすい83・2%、住み続けたい84・6%と、ともに8割超の方に住みやすい、住み続けたいと感じていただいております。

私は、「しあわせ倍増プラン」の各事業や、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに市民満足度90%以上を目指す「CS90運動」を通じて、市民の皆様一人ひとりが幸せを実感できるさいたま市を目指して取り組を進めてまいりました。また、急速に進みつつある高齢化に対しては、「行財政改革推進プラン」による、徹底した行財政改革や、施設の老朽化に対応する「公共施設マ

ネジメント計画」により、先手を打った対策を進めてまいりました。

また、一方で、さいたま市の一層の成長・発展のため、大宮駅・さいたま新都心駅周辺や、浦和駅周辺のまちづくりを推進するとともに、北海道、東北、上信越、北陸といった東日本の各地域との連携を進めてまいります。

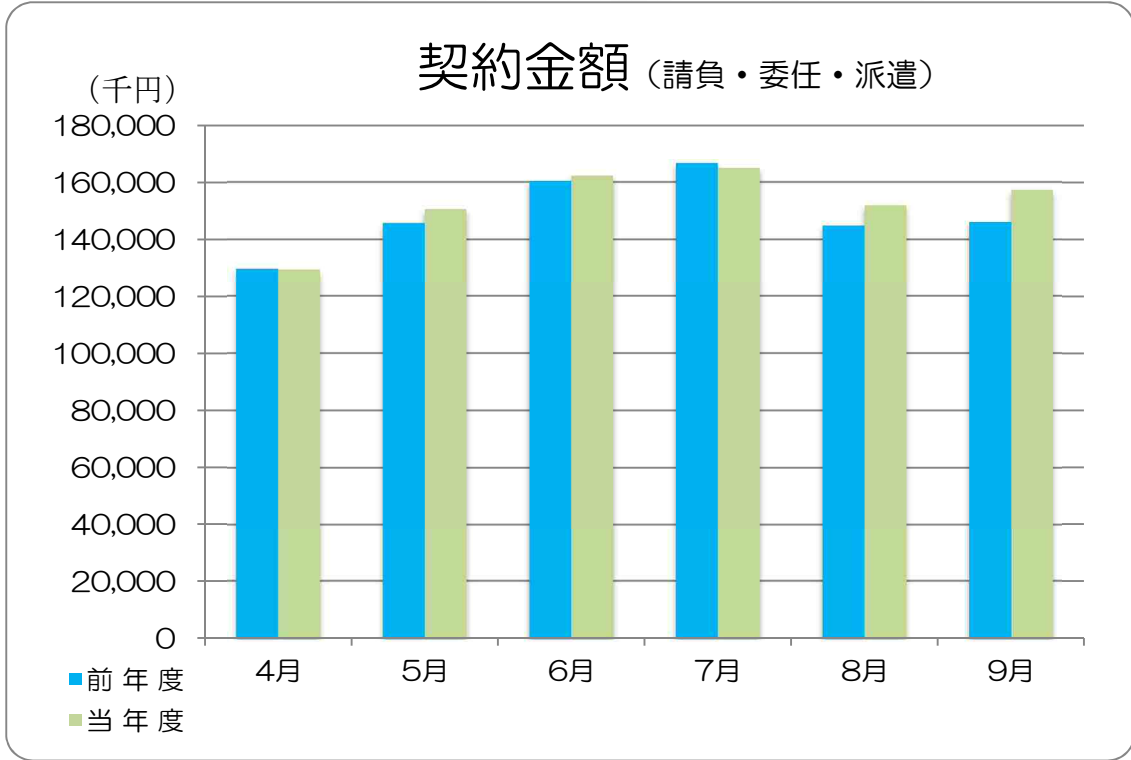
会員の皆様には、市有施設の管理や空き家対策等、様々な取組にご協力をいただいておりますが、現在、準備を進めており本年4月にスタートを予定している「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、シルバー人材センターの重要

性は、益々高まるものと考えております。今後、支え合いの地域社会づくりのためには、シルバー人材センターのご協力は欠かせないものと考えております。どうぞ、会員の皆様のお力添えをお願いいたします。

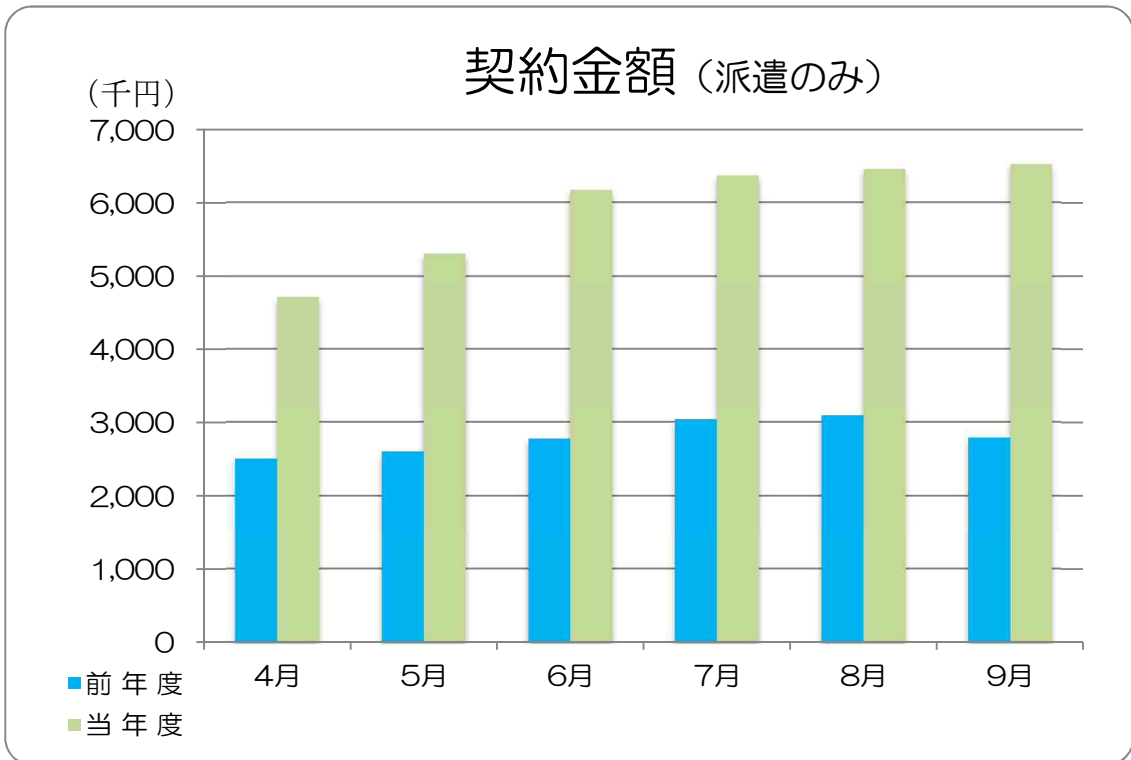
健康寿命を伸ばし、多くの市民の皆様が、健康で長生きをし、生きがいをもって過ごして行ける地域社会を、皆様とつくり上げて行きたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、新しい年が、シルバー人材センターの会員の皆様方にとり、より佳き年となるとともに、会員の皆様がますますお元気で活躍されることを、心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成29年度上半期実績

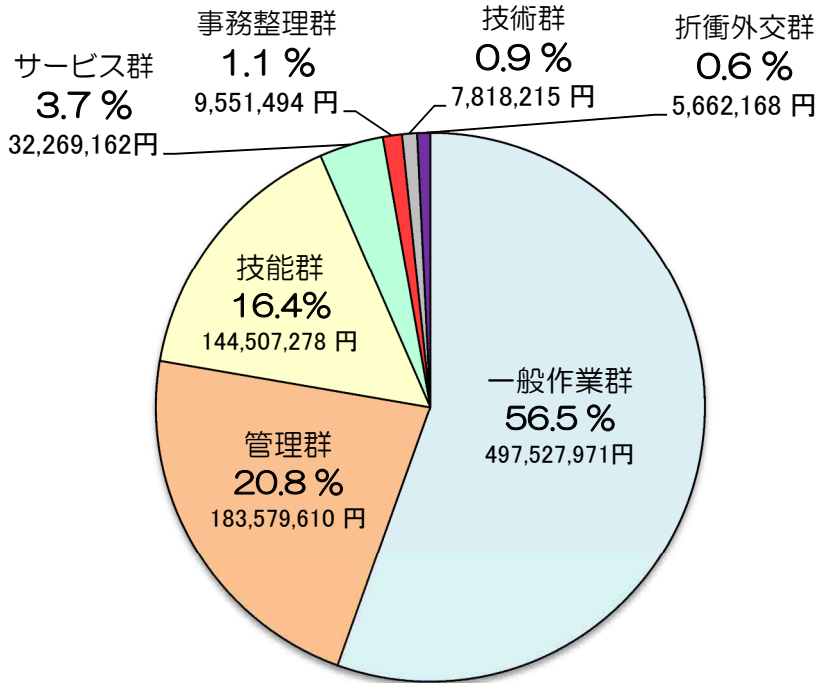


前年度と比べ、上半期の契約金額は26%増となっております。



派遣事業だけをみますと、前年度と比べて上半期の契約金額はおよそ2倍となっております。

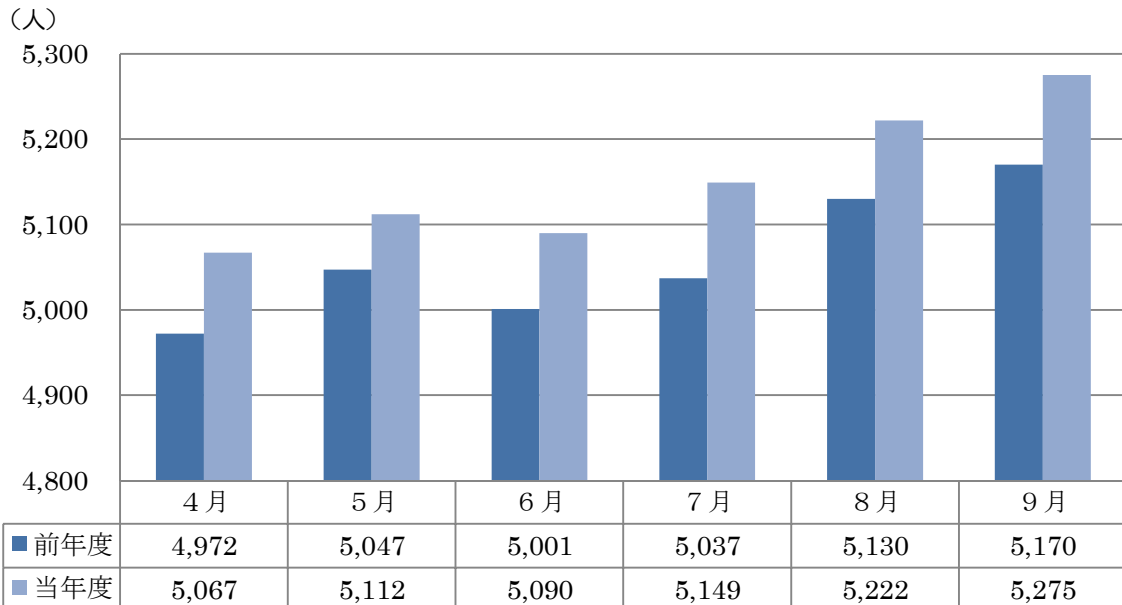
職群別契約金額実績（請負・委任）



センターで最も実績の多い職群は、屋内外清掃や除草・草刈りなどの一般作業群で約57%を占めています。次いで駐輪場・駐車場管理などの管理群が約21%となっています。植木剪定や襖張りなどの技能群は3番目に多い職群となっています。

4月～9月までの会員数

月別会員数前年度比



9月末時点で会員数は前年度と比べ約100名増加しています。

各種講習・研修会

次のような講習や研修が、本年度上半期に実施されました。

会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習ならびに研修です。

① 植木職人養成講習

6月16日～20日 48人参加

会場・浦和事務所
障害者交流センター



② パソコン研修

第1回 初めてのパソコン

5月24日～26日 17人参加

会場・与野事務所

第2回 ワード入門

6月27日～29日 19人参加

会場・与野事務所

第3回 エクセル入門

9月6日～8日 11人参加

会場・大宮事務所



③ 刈払機取扱い研修

7月6日 22人参加

会場・七里総合公園



④ 救命講習

9月4日 22人参加

会場・ふれあい福祉センター



⑤ 接遇研修

9月11日 43人参加

会場・ふれあい福祉センター



⑥ **コンプライアンス研修**

9月20日 47人参加
会場・ふれあい福祉センター



会場はすべて高齢者生きがい活動センターです。

① **パソコン講座**

第1回 初めてのパソコン

7月4日～7日 18人参加

第2回 エクセル入門

8月7日～10日 20人参加

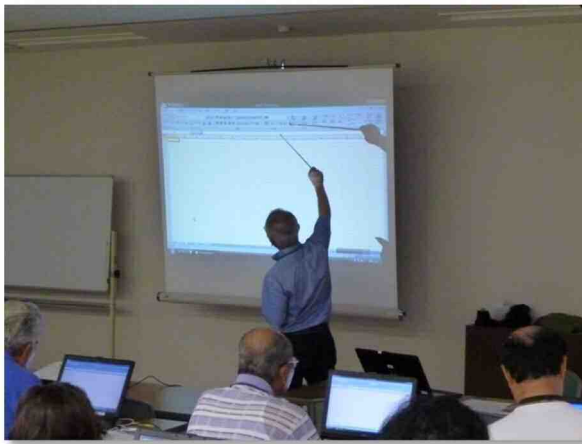
第3回 初めてのパソコン

8月28日～31日 20人参加

高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。



② **傾聴ボランティア養成講座**

6月12日～7月8日
44人参加



③ **障子の張り替え研修**

9月22日 15人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の 曾田 かいだ 房男さん

諸井 貞広さん

滝沢 昌幸さん

約8万坪の広大な敷地に、武蔵野の面影をとどめる樹林と広がる芝生。ここ「思い出の里」市営霊園では、30人のシルバー会員が就業しています。今回は就業会員のまとめ役としてのリーダー3人を取材しました。

「3人が揃って就業することは滅多にありません。今日は、この取材のためと、先日の台風21号・22号の襲来で園内が大きく荒らされ、その修復作業に大忙しで、3人揃い踏みとなりました」と曾田さん。改めて就業内容をお聞きすると「大別して墓地業務、配膳業務、お通夜業務、他特別業務。会員はローテーションで各業務に就業します」と滝沢さん。「曾田さんがセンターや霊園との連絡調整、滝沢さんが月報の作成、わたくし諸井がシフト表の作成を主として

分担しています」と諸井さん。

リーダーとしての心構えをお聞きすると、異口同音に「健康で怪我なしがモットー。何しろ年中無休、一日8時間就業ですからね」

「休憩時間や昼食時間には、会員の体調を気遣ったり、会員相互の情報交換の場として、楽しい時間になるよう雰囲気づくりに心がけています」とのこと。

趣味は、「カラオケとちよっぴりのお酒」「就業会員の送別会で、カラオケ盛り上がるんですよ」3人のリーダーのハーモニーはぴったりででした。(取材・後藤編集委員)



滝沢さん 曾田さん 諸井さん

浦和会員の 白田 洋夫さん

シルバー人材センターで襖、障子張り作業に就業して約10年、班長としてご活躍中の白田さんに、お話をうかがいました。

長年勤めた海外旅行会社を退職し、半年後にはシルバー会員の登録をしたとのことです。入会してすぐに襖張り4日間、障子張り1日の講習があり、ご自宅の襖を自分で張替えたいという思いがあり、受講したそうです。

現在は、早番の時は朝8時、遅番でも9時から作業開始。納品時間を含めて4時に終了。月、木、金、週3回の当番制で年間100日程度就業しているとのこと。

「作業で注意する点は、湿度などの天候に左右されやすく、襖、障子も多種多様。水洗い不可の製品、雪見障子、柄めり等、高額なものがあり、特に取り扱いに気を遣う。さらにお客様宅での搬入のとき、家具や柱などへも傷をつけないよう、細心の注意を払っている」とご苦労をお話しいただき

ました。

納品した後「安い料金でやってもらったのに、きれいで部屋が明るくなった」と感謝される時が喜び。それが張り合い、やりがいとなっているとのこと。

「趣味は特にないが、早寝早起きに心掛け週3回ジムに通い、健康と体力維持に努めている。それと愛妻弁当がやる気をおこす。その感謝をこめて年に一度、報酬の一部を渡している」という心温まるお話を聞かせていただきました。しめくくり、ほほえましいご夫婦像を見せていただいた取材でした。(取材・吉川編集委員)



岩槻会員の 新坂 きぬよさん

女性にいきなり年齢のお話では失礼かと思いましたが、昭和6年生まれ86歳。「お歳にはまったく見えません」という驚きの一言から取材を始めてしまいました。

若々しく表情も豊かで明るく元気、はつらつ、生き生き。お話が楽しく、あつという間に取材の時間が過ぎてしまいました。

生まれは川口市で、ご結婚後も川口でご主人の町工場を手伝っていたとのこと。その後岩槻区に工場とともに転居されましたが、数年後にご主人が他界され、ご主人が遺した町工場を81歳まで経営していたそうです。工場をやめてしばらくは自宅にいたそうですが「遊んでいても仕方がない、働きたい、何かできることがないだろうか」と、なんと82歳でシルバール会員になったそうです。

最初の仕事は見沼区にある大きな会社の清掃業務だったそうです。週3回、朝9時からお昼まで、1階から3階までの清掃でした。2

年半後に会社が他へ移転してしま

い仕事がなくなりましたが、現在は特別養護老人ホームで週3回、清掃の仕事をしています。業務の一つは車椅子の入る大きなトイレの清掃です。14カ所を3時間半で掃除します。「時間内に終わるよう工夫している」とのお話でした。

「90歳までは働きたい。持病はない。12歳の頃から5時に起きて法華経を40分唱え、健康と無事故、人の役に立てるようお願いする。

働くことが健康法です」生涯現役とはまさにこのこと。ご一緒していると、こちらが元気になってくる方でした。(取材・島村編集委員)



株式会社 ヨークマート

ハレノテラス東大宮店 様

昨年4月にオープンしたショッピングモールハレノテラス(一号店)の旗艦テナントである、株式会社ヨークマートハレノテラス東大宮店を訪問しました。

発注者の声

ハレノテラスへの出店企画段階から携わったという福本正徳店長は、「この域内は現在も続々と家屋が新築され、働き盛りの若い年代が増加しています。これに合わせ

て東大宮店では、洋風メニューを中心とした品揃えを目指しています。併せて電子レンジ商品も充実させて

います」お陰で売場面積550坪、セミセルフレジを備えたこの規模のスーパーとして売上げ順調で、例えばワインの売上げはヨークマート各店の中で一番です」構想が的中したと、にこやかに話してくれました。

「ここでは、オープン当初から16名のシルバール会員が就業して

います。商品を陳列した後に出る

段ボール等の回収作業、青果品・惣菜品・鮮魚等の切揃え・陳列等の作業をやってもらっています」

「早朝の作業ですが、黙々と作業をこなし、従業員からも信頼されています」と、お褒めの言葉。「早朝に限らず、夜間(例えば閉店時、閉店後)にもシルバールの活躍の場がありそうですね」と、助言も頂きました。

海釣りが趣味というスポーツマンの店長のもと、200人余の従業員が目まぐるしく行き来し、活気溢れる職場でした。

(取材・後藤編集委員)



発注者の声

淑徳与野中学・高等学校 様

中高一貫教育女子校の淑徳与野中学・高等学校に事務部長、佐藤聖子様をお訪ねしました。

お話によると、平成8年、地域に根づく学校として地元の方々に第一に考え、除草作業を地元のシルバ人材センターに依頼したのが最初のきっかけだそうです。

現在は図書館業務で1名、管財関係で2名の会員が就業しています。図書館業務では7時30分から17時45分閉館まで、受付業務全般を交替で担当。10年近いベテラン会員で、ほとんどの生徒の顔を覚え、ときには学校職員とともに、生徒へのアドバイスもしているとのことでした。一方、管財関係では、校内外環境整備業務を中心にロッカーなどの備品の補修、修理なども担当しているとのことでした。

「学校行事なども把握していて、熱心に就業してもらっている。ご自分の経験を活かしながら、時に

は生徒に大人として接するなど

生の先輩としての模範的存在です」とお褒めの言葉をいただきました。

就業会員に対しては「安全を第一に、けが・体調管理などに気を配っていただいている」とのことでした。

シルバ人材センターに対しては「希望通りの人材を紹介してもらいました。困ったときに気軽に相談できる存在です」と言われその信頼と期待の大きさにお応えしなければと痛感しました。

(取材・吉川編集委員)



農業 小磯 伊佐夫 様

岩槻の北部、岩槻区掛で農業を営んでいらっしゃいます。昔からの農家で、以前は稲作中心でしたが、現在は梨づくりと稲作が2割弱、8割以上はバラの苗づくりだそうです。春と秋が繁忙期ということでしたが、10月末に時間を割いていただきました。

シルバ会員がお世話になるきっかけは、梨づくりを中心にやっていた15年ほど前だそうです。花に花粉を付ける交配のための人手が足りず困っていたところ、シルバ人材センターのことを知り、依頼したのが最初だそうです。

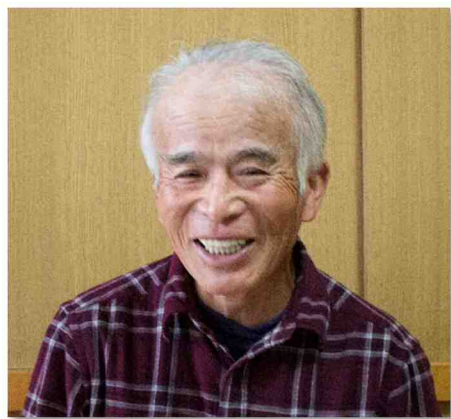
現在は、繁忙期には5人の会員がお世話になっています。うち2人は、年間を通しての就業です。「田植など機械を使った仕事は、私がやりますが、準備や片づけ、種まきなどはやってもらっています。梨やバラも様々な仕事があり、年間を通してお願いしています」ということでした。朝8時から夕方4時まで仕事をします。繁忙期

には休日を調整して土、日に出て

もらうこともあるそうです。「農家は仕事が重なる時期があるので手が足りない。会員さんのおかげで農業を続けていられる」とうれしいお言葉をいただきました。

「安全には十分注意してもらっている。また、お互い仲良く楽しく仕事をするようにお願いしている。仲が悪いと仕事のミスも増える」

小磯さんのところでは長くお世話になっている会員がほとんどですが、農作物を育てる喜びだけでなく、小磯さんの温かい配慮が仕事を楽しくさせているからだと感じました。(取材・島村編集委員)



地域班活動

中央区 第三地域

地域長 五十嵐 博一

中央区第三地域は、旧与野市の本町通りの西側で、上峰・本町西・桜丘・八王子・円阿弥の5つの地区があり、11月末現在で118名の会員、7班で活動しています。

地域会議は毎回、与野本町公民館で開催され、今年は春に「安全・安心」を主題として、浦和西警察署に講師をお願いしました。秋は中央区南部圏地域包括支援センター「さりしき」にお願いし「冬の健康管理について」：具体的には(1)冬に多い病気(インフルエンザ、ノロウイルス)、(2)気をつけたい事故やけが(入浴事故、凍結など)による転倒)、(3)生活上の注意(飲みすぎ、餅による窒息、低温火傷)そして健康管理



の基本(免疫力アップ!のため、バランス良い食事、規則正しい生活、適度な運動、ストレスをためない、よく笑う、十分な睡眠)というお話でした。

地域会議開催の土曜日は朝8時より八王子公園にて清掃活動を行っています。これが定例化しており、奉仕活動のあとの会議では一緒に参加する機会が少ないので有意義な集りとなっています。

地域の人は、グラウンドゴルフ、カラオケ、歩こう会と与野七福めぐりなどがあり、みなさん元気に参加しています。

岩槻区 第二地域

地域長 荒木 昇

当地域は、東武アーバンパークライン岩槻駅の北西に位置し、その先は蓮田市に隣接し南西側に綾瀬川、北東側は元荒川に接する住宅地と農村の混在する地域です。地域の会員総数は188名、男性119名、女性69名です。

2017年4月に岩槻駅西口が新しく開設され、駅前道路も開通し、駅前の開発もこれから期待される地域です。かかる地域で市街化地域と市街化調整区域との間を走る、見沼区と先々春日部市を結ぶ道路(地元のスーパーのスーパーベルクス前道路)にて、ゴミ拾い活動を11月5日(日)に行いました。

スーパーベルクス前に9時30分に集合し、地域班で用意した軍手、ゴミ袋を持ち、東西に分かれかつ左右に分かれ計4班編成として約1.5kmにわたってゴミ拾いを行いました。幸いにも好天に恵まれ、32名の参加者と中野理事の参



加も得ました。日頃の運動不足解消とウォーキングを兼ね、社会貢献をした充実感を感じつつ心地よい汗を流し、明日への心の糧となりました。参加者の皆様、ありがとうございました。

写真は奉仕活動の際に撮影したのですが、緑色のヤッケは、ここ4、5年で地域活動費の中よりやりくりをして毎年5、6着ずつ取り揃え、現在に至ったものです。私たち地域班の和と団結を示しています。

親睦互助会

「山梨昇仙峡とワイン工場見学、ブドウ狩りの旅」

大宮支部 松田 幸子

親睦互助会大宮支部ふれあい会は、9月27日、会員53名、バス2台で曇り空の下、7時30分山梨方面へ出発。しばらくして雲の切れ間より青空が見えてきました。富士の雄姿を見ることができないのではないかと期待しましたが残念ながらありませんでした。しかし、ほんのり色づき始めたカエデ、ナナカマドの赤い実、キンモクセイの大木、可憐なコスモスが車窓をかすめていきます。

やがて最初の目的地「昇仙峡」に11時に到着。「ほうとう会館」で早めの昼食。出発までの自由時間：ロープウェイに向かう人、仙娥滝へ183段の長い階段を下りる人、影絵の美術館でファンタジックな色彩の美しさを堪能する人、思い思いの時間を過ごした後、次

の目的地、マンズワイン勝沼ワイナリーに向かいました。ワイナリーでは試飲と買い物を楽しみ、最後はブドウ狩り。食べ放題といってもたくさんは食べられません。ブドウ棚の下で食べる味は、格別でした。

帰りの車中では「ビンゴゲーム」「きみまる」とお決まりのコース。そのころにはみなさんすっかり打ち解け、和気あいあい。会員どうしの親睦も深まり、有意義な時間を共有しました。夕方6時半、無事に大宮に到着しました。



「世界遺産 白川郷

合掌造り集落見学の旅

浦和支部 菊地 昭武

76名がバス2台で、久しぶりの一泊旅行。宿泊地は京都を模した飛騨高山とのことで、期待に胸を膨らませ、車中ではアルコールも入り盛り上がり、途中飯田市で昼食。高山市内に入る頃は雨のため、日本酒の試飲、町屋の見物もそこそこホテルに入りました。宴会では踊り・手品とカラオケで盛り上がり、食事も豪華で皆さん満足され、翌日の白川郷に期待して就寝しました。

翌朝も小雨模様で朝市見物、買物を済ませ、白川郷に向かいました。いくつものトンネルを通り、昔は山を越える大変不便なところで、深い雪を考えると何か月も孤立した世界であったと想像されます。

到着して見渡すと、雨に煙る中、合掌造りの家々が点在し、



想像した通りの風景に感動しました。20年くらいで屋根の葺き替え。村中総出であたり、現在では一軒に二千万円以上の費用がかかることでした。「厳しい自然の中で、心豊かに助け合って生活すること」と現代の「我さえ良ければ」の心貧しい時代を比較させられた旅でした。



歓迎 さいたまシルバー人材親睦互助会浦和支部 御一行様

「与野支部活動状況」

与野支部 山内 忠義

親睦互助会与野支部では、平成29年5月に開催した定期総会で議決した事業計画を順次円滑に実施してきております。

会員の親睦とコミュニケーションの活性化を図るための日帰り旅行を、10月15日「花と緑の公園と茨城グルメの旅」をテーマに実施しました。雨の中をひたち海浜公園に行きました。赤いコキア、白いソバの花、コスモス等が咲いており、女性参加者に好評でした。

11月4日・5日は、中央区区民まつりに、親睦互助会として出店しました。同好会の芙蓉会が作成する手芸品やバザー用品を販売するとともに、役員は全員参加でシルバークラシ等の配布を行いました。また、1月には恒例の新年会を開催することにしております。

また、事業計画で「シルバ



人材センターの行う事業に積極的に参加するとともに会員の拡大

に協力する」と議決し、その後の役員会でも皆さんに呼びかける活動を展開しております。与野事務所会員数の男女別内訳は、昨年度は男性70%、女性30%で女性会員の割合が低かったため、女性役員が中心となつてはじめての「女子会」を開催し、女性会員の拡大が図られてきております。

今後も「明るく元気で活動的な与野支部」づくりに努めてまいります。

「秋の日帰り旅行」

岩槻支部 落合 詔夫

親睦互助会岩槻支部「みどり会」は、10月18日（水）に埼玉、群馬方面の旅行を行いました。秋雨前線の影響で雨続きの日が続いていましたが、旅行当日は嘘のように秋晴れの旅行日となりました。

参加者62名、バス2台で、すがすがしい気分でお発し、一路第一目的地ガトーフェスタハラダに向かって順調に進み、予定時刻に着きました。ガトーフェスタハラダは洋菓子で有名です。近代的な工場を見学し、工場で作られる季節と地域限定の品、その他品数の多さに感動しました。好みのお土産を買って次の目的地に向かいました。

次は埼玉県にある国宝「妻沼聖天山本殿」を拝観しました。長年の歲月をかけて構築された神殿にある精密な彫刻やその豪華絢爛なようすに魅了



みどり会親睦旅行 聖天山軟喜院にて 平成29年10月18日

されました。

次に向かう先は、お楽しみみの昼食です。寄居にある料亭「園」で和食を堪能しました。最後の目的地は東秩父の和紙の里です。和紙の里で伝統の和紙の紙すきを体験しました。すいた和紙は、それぞれ後で郵送されるので、旅の思い出の一品となりました。

旅の行程も順調に進み、バスは一路岩槻に向かいました。途中道の駅で休憩と買い物をはさみながら、無事に到着しました。思い出に残る、互いの親睦を深めた有意義な旅行となりました。

会員ボランティア活動

さいたま市シルバー人材センターで実施している会員ボランティア活動の一部をご紹介します。



ふれあい教室 猿花デイキャンプ

青少年との交流事業として
カレーライスや豚汁をつくりました

シルバーライフサポート事業

介護は必要ないが移動手段がない
そんな高齢者を支える活動です

活動は、シニア会員の経験や知識を活かし、やさしい心で地域の良き話し相手になること。日頃、話す機会の少ない高齢者に寄り添い、ふれ合うことで、心温まる地

行われています。
活動は、シニア会員の経験や知識を活かし、やさしい心で地域の良き話し相手になること。日頃、話す機会の少ない高齢者に寄り添い、ふれ合うことで、心温まる地

を受賞しました。
平成18年、家事支援の仕事のあとのボランティア活動としてスタートし、11年目。昨年の「市社会福祉大会」での市長賞に続いての受賞です。発足当時は会員38名、訪問の個人宅数件、2施設。現在は会員数約350名、訪問施設43、個人宅60数件。ほとんど毎日、どこかの施設、個人宅で傾聴訪問が行われています。

**傾聴ボランティア活動
輝く！ 厚生労働大臣賞**

コーディネーター 太田 順治

平成29年11月22日(水)、メル

パルク東京ホール(港区芝公園)で行われた「平成29年度全国社会福祉大会」において、傾聴ボランテ

ィアあゆみは、栄誉ある厚生労働大臣賞「ボランティア功労者賞」

を受賞しました。

域社会づくりの一助になるよう活動しています。活動する会員も傾聴を通して元気と勇気もらい、喜びや楽しみを知り、生きがいにもつながっています。
今回の栄えある受賞を新たな励みとして、活動は地味ですが、傾聴ボランティアあゆみはこれからも輝き続けます。



賞状と記念品の置き時計を持つ、喜びの傾聴ボランティアあゆみ役員及び事務局コーディネーター

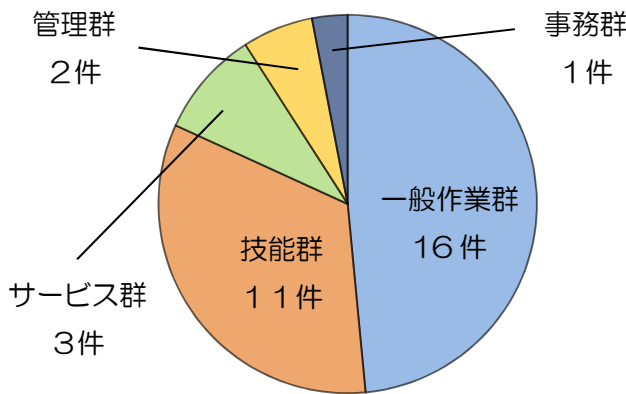
平成29年度上半期事故状況

	傷害	賠償	合計
当年度	15	18	33
前年度	13	11	24
増減	2	7	9

安全だより

平成29年度上半期事故状況は左記のとおりです。
 前年度と比較して、事故件数が増加しています。会員の皆様には日頃から「安全のしおり」と「安全ハンドブック」を携帯し、事故の無いよう努めて、就業いただきますようお願いいたします。

職群別割合



職群別割合の各職群の詳細

- 一般作業群…除草、屋内外軽作業、清掃
- 技能群…植木剪定
- サービス群…家事援助
- 管理群…駐輪場整理
- 事務群…事務

クリスマスコンサートを開催しました

平成29年12月1日(金)市内の60歳以上の方を対象に「プラチナ世代のためのクリスマスコンサート」を開催しました。

このコンサートは公益財団法人さいたま市文化振興事業団が実施するアウトリーチ事業(※)に、センターが共催をしたものです。

当日は96名の参加者をサンタクロースに扮した会員がお出迎えし、クリスマスムードを演出しました。

センターは、普及啓発の一環として、会場内にパネルを展示し、相談コーナーを設けて、就業紹介や、会員の増強のPRを行いました。また、コンサートに先立ち総務部会理事がセンター事業について紹介させていただきました。

アーティストはさいたま市にゆかりのあるソプラノ歌手柏崎伸子さん、ピアノ奏者の渡辺静代さんにご出演いただき、時季に合わせ

たクリスマス曲を始め、なじみ深い曲を全員で合唱するなど、大変盛況となりました。

少し早目のクリスマスでしたが、素敵な演奏と皆さんの歌声、笑顔がいつぱいの時間となりました。



※アウトリーチ事業とは、豊かな人間関係の構築や地域の活性化など文化芸術が持つ力に着目した、公的機関や、公共的文化施設などが行う、プロのアーティストを地域へ出張させるサービスです。

出張説明会のご案内

「シルバー人材センターに入会すると、どんな仕事を提供してもらえるの？」や「シルバー人材センターにはどんな仕事を頼めるの？」など、センター事業を、一人でも多くの方に知っていただき、身近な存在として感じていただくために、出張説明会を行っています。

出張説明会は、自治会やサークル活動などお仲間が集まる機会に合わせて、センター職員等が伺います。センター以外の活動をしているお仲間を紹介してください。

出張説明会の申込みやお問合せは、センター本部事務所（電話669-0303）へお気軽にご連絡ください。



「女子」の楽〜仲間invas〜

与野事務所では、女子会員138名と、もともと女子の会員数が少なく、地域会議や親睦会の集まりにも参加が少ない状況です。

事務所の活性化の為に女性に気軽にセンター事業に参加でき、「入会してよかった、楽しい」と親しみをもってもらえるようになればと、女子会を企画しました。

親睦会や職群、地域の女性役員を中心に打合せを行い、当日はテーブルコーディネートや飾り付けをして、会議室をかわいらしい「テイルーム」に変身させました。

26名の「女子」の参加があり、全員の自己紹介の後、テーブルごとにお茶を飲みながらのフリートーク。各テーブル、途中移動もしながら近況報告や、どんな仕事をしているのかなど「ガールズトーク」に花を咲かせました。

皆さん楽しく過ごせたようで、2時間があっという間でした。



私たち会員がセンター活動を楽しんでいけば、退会の抑制や会員増強につながると思います、今後も「女子会」での仲間づくりを続けていきたいです。（理事 生澤 富代）

表紙
「さいたま市大宮武道館」

平成3年開館。建物は、近代的でシャープな三角屋根と、クラシカルな「なまこ壁」が調和しています。

柔道、剣道、弓道など各種武道のほか、バレーボール、卓球など幅広くスポーツ活動に利用されています。

編集後記

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと思います。早いもので会報も第33号の発行となりました。

新年の抱負として、読みやすいよりよい会報を皆様にお届けしなければと、決意を新たにいたします。

（編集委員会）